

知的障害



主な特性

年齢相応に考えたり、行動できなかったりなど、社会生活への適応のしにくさがある人です。

複雑な話や、抽象的な概念、数の概念が、理解しにくい傾向があります。

自分の意思を表現したり、相手の言葉や気持ちを理解したり、判断したりすることが苦手です。また、こだわりのある行動をする人もいます。てんかん、身体障害、発達障害などほかの障害がある人もいます。

障害の程度は、一人で日常生活がおくれるような状況から、周囲の助けを得て生活をするような重い状況まで差があります。

必要な配慮

- 成人の人に対しては、年齢相応の対応をしましょう。
- 障害があるからできないと決めつけずに、できることに目を向けて一緒に考えましょう。
- 社会的なルールが理解しにくいいため、突拍子もなく思える行動をとることがありますが、その理由の理解に努めましょう。
- 困っているような様子を見かけた場合は、「どうしましたか」など、おだやかな口調で話しかけてください。



《ボードの使い方》

硬貨の絵をさしながら、
どの硬貨が何枚必要かを説明します

